

東海市・知多市病院連携等協議会だより

No. 2

— 地域医療の確保と充実のために — 第1回協議会を開催



7月3日、知多市勤労文化会館で第1回協議会を開催し、両病院の経営統合による医療機能の再編等について、「求められる新病院の姿」、「再編等の進め方」の2つの項目について協議を行い、つぎの方向性が取りまとめられました。また、協議会では、今年の秋口を目途に、病院連携等について中間報告を行う予定です。

求められる新病院の姿

求められる新病院の姿として、「経営の専門職員が運営し、環境にも配慮され、先端医療が受けられる病院」、「若手医師に魅力がある先進医療が行なわれ、容態が急変したときいつでも受け入れてくれる病院」、「救急体制が整い、公共交通からアクセスが容易な病院」を、また「このような機能を持った病院を両市民病院が統合して出来るだけ早く実現する必要がある。」と取りまとめられました。

委員からの意見等

- ・単独での病院経営は無理、統合は必要
- ・救急対応として、いつでも受け入れられる病院
- ・中途半端な大きさや経営ではだめ、魅力ある病院を
- ・安心して出産ができる病院
- ・若い医師が集まる病院に
- ・地域完結型病院を
- ・専門的な診療ができる病院
- ・建設に向けた早急な議論を
- ・500床以上の規模で、救急の充実を

参与からの意見等

- ・WHOでは人口30万人で一つの医療圏、地域にそれぞれ病院をという発想は地域エゴ
- ・医療の水準、利用のしやすさ、経済コストのすべてを求めることは無理で、求めるものを整理し、規模の確保、中堅医師の確保が大切
- ・新病院に何を求めるのかを絞るべき、今のままでは二つの病院は潰れる、大きくなって魅力ある病院になる必要
- ・地域完結型は地域の協力が必要、経営と財政のバランスが大切

再編等の進め方

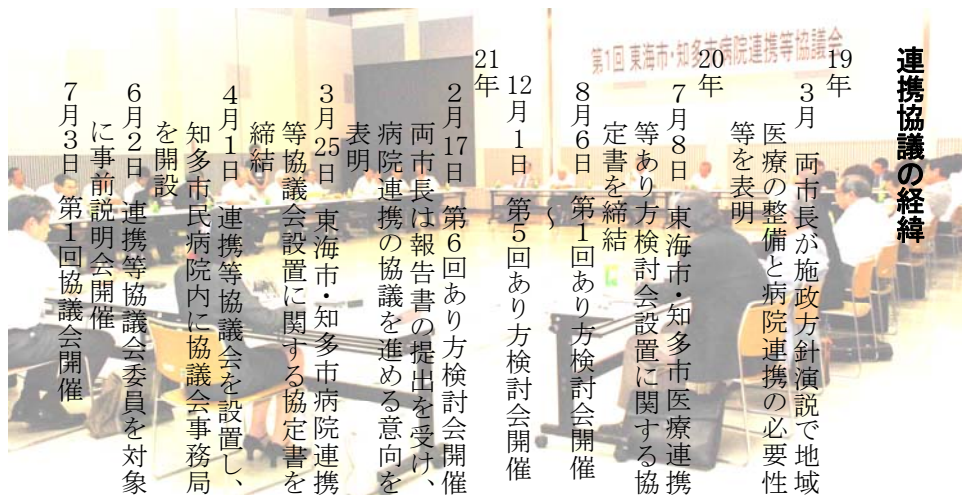
再編の進め方として、「経営統合を最優先で進めながら、新病院の建設を早期に実現できることを目標とし、経営的な視点も取り入れ、医療機能の向上、医師の確保に繋がる再編の形を着実に段階を踏んで進めていくこととする。」と取りまとめられました。

委員からの意見等

- ・再編を考える上では、過渡期としての年数や経費など明らかにして協議を
- ・具体的な再編案を示して協議を進め、最終的には、どちらかの病院に集約を

参与からの意見等

- ・全国で医療崩壊が進んでいる、出来るだけ速やかに進めることが大切
- ・住民が若手医師を暖かく迎えることが必要



知多半島北西部地域における公立病院のあり方について皆さんの意見をお聞かせください。



東海市・知多市病院連携等協議会事務局

〒478-8640 知多市新知字永井2-1(知多市民病院内)
TEL (0562)55-1155 (内線 5222、5223)
FAX (0562)55-1291
URL <http://www.city.chita.aichi.jp/byoren/>
E-mail byoren@city.chita.lg.jp

第2回 東海市・知多市病院連携等協議会

第2回の協議会を次のとおり開催します。会議は、公開を原則としていますので、傍聴にお越しく下さい。

日時 8月17日(月) 午後2時～

場所 東海市立勤労センター

(東海市高横須賀町榊形1-7)